

あっという間に1月も残り少なくなり、一年で一番寒い大寒も過ぎました。外あそびの「はねつき」「こままわし」「マラソン」を寒さに負けず、楽しむ子どもたちです。太陽の部屋では劇あそび、お正月遊びのかかるた、そして郵便屋さんごっこも始まり、にぎやかです。クッキングコーナーではホット体が温まるお餅クッキングが始まっています。これからはお雑煮や焼き餅そしてお汁粉などを作り、みんなに温かいうちにと振る舞ってくれることでしょう。どの活動もこの時期だからこそできるものですので、多いに楽しんでいきたいものです。



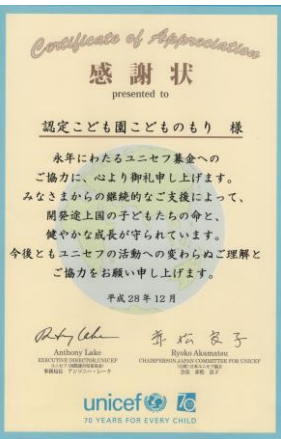
今子どもたちは「これは何だろう?」「なぜなのか?」「どうしてだろう?」「ちょっと面白そうだな!」「やってみようかな」と見るもの、聞くもの、触るもの等に興味を持ち、どの年齢の子も取り組んでいこうとしています。たくさんのお見聞が出来るように応援をしていきたいと思っています。



第5期の「思いやる子」で願っている「自分の事だけでなく、他の人への思い」が育っていかねばと願っての募金活動の報告会を本日おこないました。「私たちが集めたお金です! 病気や悲しい気持ちの子どものためにお金を送ってください」と太陽の部屋の全体会でそれぞれのコースの代表の子から、数えた金額の集計と大切なお金をいただきました。年長さんが各家庭でお手伝いをしていた大切なお金を間違わないように慎重に毎日のように数えて集めたお金です。



本年もこのお金のこどものもりスタッフ、その他の寄付金を合わせてユニセフを通して募金として送ります。「どんなことがたいへんでしたか?」と聞くと「金種別に並べるのが大変だった。」「フィルムのケースに入れるのが大変だった。」「間違わないように数えるのが難しかった」等、一生懸命に数えてきたすみれ組さんでした。子どもは大人と違いお金への執着心は余りありませんので、このような善意の気持ちの育つ年齢の時に金銭の大切さや無駄にしない生かし方を伝えていきたいと思っていますので、ご家庭でもていねいに教えていただければと思います。ステキな子どもたちと保護者の皆様にあらためて感謝申し上げます。



募金箱について・・・スタンプの募金箱は子どもたちの思いの入った作品ですので、本日カバンに入れて持ち帰ります。上の部分を切ってありますので、どうぞ「小物入れ」としてご家庭で大切にお使いいただければたいへんうれしいです。今後もお手伝いが子どもたちとご家族のコミュニケーションの一つとなっていくことを願っています。

ユニセフから感謝状が届きました・・・第二次世界大戦で傷ついた子ども達を支援する目的で 1946年に創設され、昨年に70周年を迎えました。今まで、ユニセフ学校募金の伝統が引き継がれてきました。昨年までに10年以上に渡り毎年ユニセフ学校募金に協力した全国の学校に感謝状が贈られました。こどものもりの保護者の方々のご理解・ご協力による子ども達の長年に渡る善意の賜物であります。そら玄関に飾らせていただきますので、お出での折に是非ご覧ください。

善意のお金の総合計は52,515円です (子どもたちから感謝の拍手がありました)

	くるみ	りんご	ぶどう	どんぐり	ちゅうりっぷ	こすもす
①	6,331	5,980	5,313	10,284	3,865	1,858
②	5,848	2,895	5,358	4,783		
合計	12,179	8,875	10,671	15,067	3,865	1,858

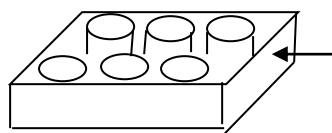
ご家族のご理解・ご協力に感謝申し上げます

善意の募金を下のような方法で数えてきました。

各コースから数人ずつの年長さんが順にお金を数える作業を始めました。

1円玉、5円玉、10円玉、50円玉、100円玉、500円玉それぞれより分けて1円玉から順番に10枚ずつ数えて、フィルムの空ケースに入れていきます。ゆっくりていねいに数えて、しかも一生懸命に間違わないよう確認しながら取り組みました。どの子ども真剣に数えたり扱っていて、時々緊張して大きく息をする子もいるくらいでした。

数えあったお金が10枚になったらフィルムの空ケースの中に入れておく。



10枚ずつ入ったフィルムのケースが全部でいくつになったかがわかるようにしてある。

	コース					
	1円玉	5円玉	10円玉	50円玉	100円玉	500円玉
枚数						
合計						

この用紙は数えたお金の書き込むものです。

1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

この数の書いてある台紙は一個ずつお金のせて10枚にしていくものです。